

皆さまには、平素より亀有信用金庫に格別のご愛顧とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。当金庫第104期の事業概況および決算のご報告にあたり、ご挨拶を申し上げます。

令和4年度の我が国経済は、新型コロナウイルスとの共生による社会経済活動の正常化へ動き始めた一方、物価の上昇や32年ぶりとなる150円台の円安などにより、厳しい状況が続きました。

このような中、政府は「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を策定し、物価高・円安への対応、構造的な賃上げ、成長のための投資と改革により、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引締め等による世界的な景気後退懸念など景気の下振れリスクに先手を打ち、我が国経済を民需主導の持続的な成長経路に乗せていくとしました。

また、海外では、ロシアによるウクライナ侵攻や中国のゼロコロナ政策の悪影響が広がったほか、電子部品を中心とした供給の混乱も続き、さらにインフレ抑制を目的とした政策金利引き上げも加わり、世界的な経済成長の足枷となりました。

難しい舵取りを迫られる昨今、当金庫の主要な取引先である中小企業につきましては、原材料価格や光熱費の高騰、人手不足や供給不足など逆風が強まる一方、販売価格への転嫁が困難な企業も多く、業況や資金繰りが厳しいとの声も聞かれました。

このような状況を踏まえ、地域の事業者の皆様に対しては資

金繰り支援を続けるとともに、社会経済活動の正常化に向けた資金需要に対応できるよう、迅速かつ柔軟な取組を行ってまいりました。

令和4年度は、中期経営計画(3ヵ年)の中間年度となりました。次の時代へ進化するため、「営業体制強化による収益力増強」「人材育成と活用」「業務効率化」「企業風土の変革と地域貢献」を重点課題とし事業を進めてまいりました。信用金庫の原点に回帰し、当金庫と顧客(会員)との関係強化、顧客(会員)同士の関係強化、顧客(会員)基盤の強化を推進し、顧客(会員)の成長を通じて地域の成長に貢献してまいります。

令和4年度の新たな取組として、民間都市開発推進機構と共同で「かめしんまちづくりファンド」を設立、信金中央金庫の地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」の活用と合わせて、地域の活性化に努めてまいります。

従来から継続した取組として、「新現役交流会」(第15回)は、4日間にわたり対面やWebを活用して実施いたしました。大企業等を退職し、専門知識やスキル、資格や人脈等を中小企業の経営課題解決に役立てたいという意欲を持った人材である「新現役」と中小企業との人材マッチングを支援するこの取組は、平成21年から継続しております。また、令和4年度も引

き続き当金庫は内閣府による「先導的人材マッチング事業」の採択事業者となっております。

ご好評をいただいております。他金庫との広域連携による「ご当地おみやげ取次プロジェクト」は3年目となりました。お互いの取引先の生産者の商品を信用金庫の店頭で紹介し、来店客に旅の気分を楽しんでいただきながら店頭で注文を取り次ぎ、生産者の販路開拓と各金庫の来店誘致を実現しております。その他、葛飾区特定創業支援等事業として「かつしか創業塾」(全6回)を毎年開催しているほか、社会経済活動の正常化への動きを受け「葛飾ものづくりフェア」を再開するなど、各種外部支援機関との連携によって様々な中小企業の経営課題解決に多くの成果を上げております。

また、地域貢献活動として、葛飾区と「SDGsの推進に関する協定」を締結したほか、地元中学校に対する金融リテラシー授業を証券会社と共同で実施いたしました。持続可能な社会を目指す取組を通して、地域への貢献を続けてまいります。

亀有、足立成和、小松川、東榮の4信用金庫が業務提携をしておりますシグマバンクグループは、令和4年度もコロナ禍の影響によりビジネス交流会は開催できませんでしたが、6月にビジネスマッチングサイト「シグマビズ」を立ち上げ、シグマ協議会参加のコザ信金を加えた5金庫の間でいつでも商談できる体制を整えました。引き続き、献血運動の実施など社会貢献活動にも力を入れております。

内部管理体制につきましては、マネロン・テロ資金供与・拡散金融対策や統合的リスク管理態勢の強化、コンプライアンス意識の維持・向上、サイバーセキュリティ対策などに積極的に取り組んでおります。

主な業績は以下のとおりです。当金庫第104期の経常利益は1,486百万円となり、税引き前当期純利益は1,487百万円、当期純利益は1,010百万円となりました。自己資本比率(バーゼルⅢ国内基準)は15.54%となり、国内基準である4%を大きく上回り十分な水準を維持しております。また、今期の出資配当率については3%とさせていただきます。

令和5年度は、新中期経営計画《Evolution～次の時代へ～》(3ヵ年)の最終年度となります。信用金庫の原点に回帰し、営業体制強化による収益力増強、人材育成と活用、業務効率化、企業風土の変革と地域貢献を推進し役職員一体となり総力を挙げて取り組んでいく所存です。

皆さまには、何卒、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのご健勝とご繁栄をお祈り申し上げますとさせていただきます。

2023年7月

理事長 **矢澤孝太郎**

## ごあいさつ



### 本店ビル1階 『制振ダンパー』前にて

本店ビルには地震対策として制振ダンパーを取り入れております。鋼板に接着された粘弾性体が変形することにより、建物の振動エネルギーを熱エネルギーに変換し、建物の揺れを小さくします。